

第73回埼玉県美術展覧会

5月28日(水)～6月19日(木)

埼玉県立近代美術館

企画運営

県展の運営は、埼玉県美術家協会及び関係機関等の選出委員からなる運営委員並びに出品作品の鑑審査を行う審査員により行われ、運営委員会で企画が検討された。

総括

作品の募集の対象は、15歳以上の県内在住、在勤、在学者（中学生を除く）で、部門は日本画（水墨画含む）、洋画（版画含む）、彫刻、工芸、書（篆刻・刻字含む）、写真の6部門。

5月8日から13日まで作品の搬入を受け付け、招待作品等を含めた出品総数は3,114点、出品者数は2,630人で、東秩父村を除く県内62市町から出品があった。

一般・会員の出品2,780点の中から、厳正な審査の結果、1,464点が入選した。入選率は52.7%とハイレベルな美術展となった。

第73回展においても3,000点を超える出品と約20,000人の観覧者数を記録し、自治体主催の公募美術展としては引き続き全国トップレベルの規模であった。また、今回は16歳から100歳までの幅広い年代から出品があった。さらに、入賞者も16歳から89歳までと広範にわたり、日本画部門においては、18歳の若い出品者が埼玉県知事賞を受賞した。

県展と同時開催で福祉部障害者福祉推進課による障害者アート作品の展示を行った。

主催

埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県美術家協会
埼玉県芸術文化祭実行委員会

<ポスター>



<鑑審査>



<授賞式>



会期中の状況

5月28日から6月19日まで20日間にわたって開催された。陳列総数は、招待・委嘱作品等を含め1,798点であった。公開期間中の観覧者は延べ21,260人にと大好評を得た。

会期中には、各部門の審査員による講評会が開催され、好評を博した。また、美術家協会主催の「テンペラ画を描こう」と題するワークショップも行われた。観覧者に対しアンケートを実施したところ、回答者のうち約8割が満足という結果が得られた。

6月14日には、授賞式を浦和コルソホールで行い、受賞者・関係者が集った。

審査員コメント

第1部（日本画）（審査主任：亀山 祐介）

日本画部門の一般、会員の搬入数は147点で昨年よりも14点の増加となった。これは出品要項を変更し出品可能最小サイズをなくし、どの様に小さな作品であっても出品出来る事を可能にした為と思われる。様々なサイズの作品に触れ、出品に躊躇されていた方々にも搬入する勇気を与えられる場所となる事を願っている。

第2部（洋画）（審査主任：寺久保 文宣）

県展の洋画は、出品者のおよそ半数のみが入選となる大変厳しいものである。今年度は、どのような作風でも、真摯で確実な制作のうえに、作者の実感が伝わってくるような作品が評価される傾向にあった。県展への出品が、出品者にとって一つの実践や契機となることを願っている。

第3部（彫刻）（審査主任：長谷川 倫子）

石、金属、木、石膏、FRP、テラコッタといった「彫刻の王道」とされる素材に加え、段ボールや紙、ペットボトル、プラスチック、樹脂粘土など、身近な素材を工夫して用いた作品が増えている。こうした傾向は、彫刻という表現の枠を広げ、ジャンルの境界を探りつつ、新たなアートの可能性を感じさせるものであった。

<第1部 日本画>



<第2部 洋画>



<第3部 彫刻>



第4部（工芸）（審査主任：西 由三）

材料を加工する為の作業場、工作機械、様々な道具類など始めるだけでも多くのハードルがある中で出品数を保っているのはこの地の工芸に対する意識の高さを表していると思う。出品者は是非 講評会に参加し審査員の意見等を参考に研鑽に励んで頂きたい。

<第4部 工芸>



第5部（書）（審査主任：奈良 衡齋）

鑑別では部門ごとに入選ラインを決め、厳正かつ公平に決定した。入賞作品を決めるにあたっては、候補作品の一字一句を審査員全員でチェックした。今後とも誤字がなく誰が見ても大丈夫という文字で制作していただくようお願いするとともに、一層の精進、進歩を願う。

<第5部 書>



第6部（写真）（審査主任：白鳥 正一）

写真が日常生活に深く浸透した今、写真を撮る際には、その景色が好きか、撮ることが楽しいか、その対象を愛しく想うか、ふとしたことの瞬間的な出逢いに巡り会える喜びを感じるか、といった気持ちを大切にしていただきたいと考えている。

<第6部 写真>



運営委員長兼審査員長

松岡 滋

運営委員

内藤五琅 岡田忠明 高橋 勝 白幡 明 栗崎浩一路 関根治郎 大野逸男 小川 游
高野 讓 根岸君夫 守屋順吉 齋藤 馨 塩原康正 増村紀一郎 町田景雲 柳澤朱篁
天野行男 笠原 将 佐藤親正 石塚正歳 大熊 聡 小谷野幸也

運営委員兼審査員

〔日本画〕 亀山祐介 野邊ひろみ 洲田邦明 〔洋画〕 寺久保文宣 新井 隆 倉林愛二郎
〔彫刻〕 青木邦真 鈴木法明 原田治展 〔工芸〕 西 由三 豊平江都 松永一慶
〔書〕 奈良衡齋 赤荻北州 片野錦秋 〔写真〕 白鳥正一 新井房子 宝力美和

運営委員

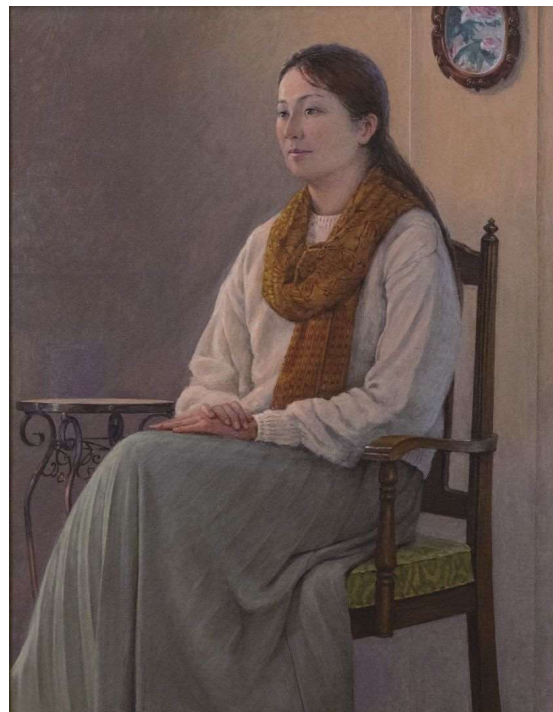
〔日本画〕 風間さかえ 黒澤 正 駒崎美香子 杉浦左知 高橋裕子
〔洋画〕 井田善子 佐藤伸二 高沢郁子 永江咲紀子 保坂 晶 松尾せい子 村井 進
山下英夫
〔彫刻〕 長谷川倫子 市之瀬宣久 野崎隆司 矢島秀吉
〔工芸〕 安藤タヅ子 関井一夫 高田兵庫 山本富士雄
〔書〕 飯室緑川 加藤玲香 柴田千鶴子 萩原彰子 本多青楊
〔写真〕 小谷和己 齋藤英雄 根本美津江 荻原光治

第73回埼玉県美術展覧会

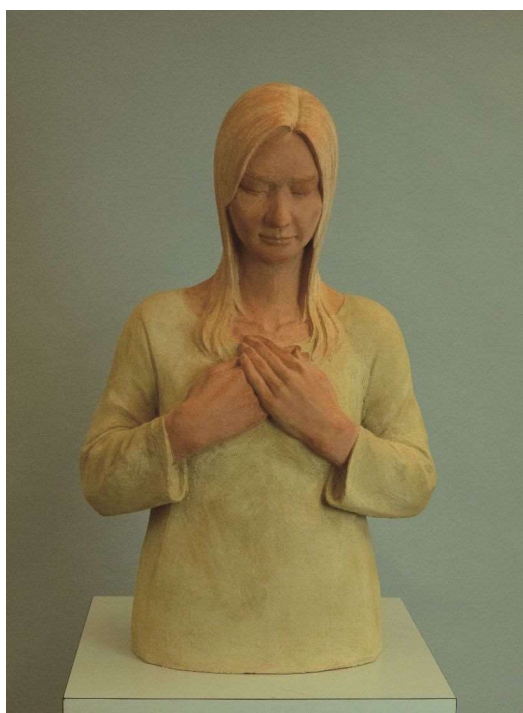
埼玉県知事賞受賞作品



『あさつゆの』青木 莉琉（日本画）



『憩う』井上 祐作（洋画）



『祈り』本多 史弥（彫刻）



『藤』荻野 大輔（書）



『たまゆら』黒川 律子（写真）



『花籃「プリズム」』大木 淑恵（工芸）